

「高圧ガス施設耐震性判定マニュアル」正誤表

頁	行	正	誤
2	9	通商産業省告示第515号	通商産業省告示515号
24	9	b-パラメータ I $b_I =$	b-パラメータ I $c_I =$
24	10	b-パラメータ II $b_{II} =$	b-パラメータ II $c_{II} =$
30	10	$Q_{UN} \leq Q_U$	$Q_U \leq Q_{UN}$
64	9	2.0 MPa	2.0 N/mm ²
65	25	引張側基礎ボルト	張側基礎ボルト
110	2	側部保冷材(粒状パーライト)が内槽に直接接触の場合、即ち、ブランケット形式	側パーライトが内槽に直接接触の場合、即ち、ブランケット形式
110	4	側部保冷材(粒状パーライト)が内槽に直接接触しない場合、即ち、ダイヤフラム形式	ダイヤフラム形式
127	17	$pK_H=0.48$	$K_H=0.48$
152	3	又は換算断面積	又は換算電面積
153	11	判定結果から判断して入力とする。	判定結果から判断してを入力とする。
157	2	現地盤面の深度	現時盤面の深度
167	6	液化プロパン	液化プロパン呼称容量
249	9	(3) 貯槽室充填物の取り扱い	(3) 貯蔵室充填物の取り扱い
265	5	$= 0.301 \text{ N/mm}^2$	$=5 0.301 \text{ N/mm}^2$
266	6	弾性状態にとどまる	弾性状態にとどまる
271	1	振動周期 (応答周期、以下同様)	振動周期 (応答周期)
289	5	図 6.3.2-2 弾塑性応力状態	図 6.3.2-2 断塑性応力状態